



就農のきっかけ

私の出身は鹿児島市ですが、妻の祖父が肝付町で芋の栽培をしており、手伝いや収穫後のバーベキューなどを通じて農業が楽しそうだと感じたことが、興味を持ったきっかけです。前職は九州管内全域に転勤のある営業職で、鹿児島に住み続けたいという思いもあり、就農を決断しました。

ピーマンを選んだ理由は、部会での成果が収量や面積換算で明確に比較でき、営業職の経験から「一番を目指して頑張れる品目」だと考えたためです。

現在の経営状況、課題について

当初は19aのハウスでしたが、もう1棟（11a）中古ハウスを建設し、現在は30aのハウスで営農しています。

経営構成は、私とアルバイト4名です。アルバイトには、主に収穫作業を担当してもらっています。主な販路はJAです。

最大の課題は単収の向上です。一つの株からどれだけ実をつけられるか、日々勉強と試行錯誤の連続です。燃料代や電気代などのコスト上昇も深刻ですが、削れない部分でもあるため工夫して向き合っています。

就農時に活用した事業

就農準備資金・経営開始資金・経営発展支援事業を活用しました。就農1年目は研修施設で基礎技術を習得し、2年目には模擬経営で実践的に栽培や経営を学びました。交付金は生活費や資材購入、畝立て機・管理倉庫の整備、さらに現在建設中のハウスの費用にも活用しました。資材や肥料が高騰している状況では、交付金がなければ経営は厳しかったと思います。ハウス内の温度・水分量・CO₂量などをデータで管理しているため、今後スマート農業に活用できる制度があれば嬉しく思います。

地域のサポート等

困ったときは、農家の仲間や振興センター、指導員の方やJA、大隅地域振興局などサポートしていただき、たいへん助かっています。

農業の魅力・新規就農者にむけて

農業は「正解」がなく毎年チャレンジの連続ですが、その挑戦できる環境こそが魅力だと思います。自分で考えて思い切った取り組みができ、努力が収益に直結する点もやりがいにつながっています。新規就農者へのアドバイスとしては、作物について真面目に学び続けること、先輩方から学び、周囲から情報を得て自分の取り組みに活かす姿勢が重要です。補助金についても積極的に情報を収集し、うまく活用しながら取り組むことをおすすめします。

今後の目標と取り組みについて

単収が目標に到達した際には、さらに栽培面積を拡大したいと考えています。一人で管理できるのは現在の19aが限度と感じており、今後はサポート体制を整えるためにも雇用拡大を進めながら頑張っていきたいです。